

平成26年度 春学期
学生による授業評価と授業改善のためのアンケート

結果

(全体集計抜粋版)

1. 全体集計

全体集計	履修者数	3576	回答者数	2880	回答率	81%
------	------	------	------	------	-----	-----

区分	質問番号	質問内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目
学生の取り組み	1	学生全体の授業態度はよかった。	704	1109	739	242	85	1	3.73
	2	あなた自身の授業態度はよかった。	731	1278	742	105	19	5	3.90
	3	授業時間外での学習をよくした。	405	595	1139	466	265	10	3.14
	4	わからないところは積極的に質問するように心がけた。	469	702	1044	392	259	14	3.25
授業の内容、方法、教員の取り組み	5	授業の難易度は適切だった。	233	587	1952	69	31	8	0.32
	6	シラバスに沿った内容、方法で授業が行われた。	750	1097	958	43	20	12	3.88
	7	授業はよく準備・工夫されていた。	955	1062	705	96	57	5	3.96
	8	教材(テキスト、配布資料など)の活用は適切だった。	901	1076	734	111	50	8	3.93
	9	黒板/ホワイトボードや視聴覚教材の使用は、効果的だった。	869	1005	760	172	65	9	3.85
	10	学生の理解度、習熟度を考慮して授業が進められていた。	811	981	855	154	72	7	3.80
	11	教員の話し声は聞き取りやすかった。	1048	941	674	150	57	10	3.97
	12	教員は、学生の質問や疑問、意見に適切に対応した。	989	963	757	117	44	10	3.95
	13	教員は、私語などを注意し、授業環境を適正に保つ配慮をした。	980	956	735	147	53	9	3.93
	14	教員の取り組み姿勢に熱意、誠実さ、真剣さを感じた。	1092	985	661	89	44	9	4.04
全体的な評価	15	この授業に関連する内容への関心が深まった。	955	969	698	131	70	57	3.92
	16	この授業を受けて満足している。	1009	872	728	116	91	64	3.92
自由設定項目	17	自由設定質問							-
	18	自由設定質問							-

グラフ内数字は回答数

■ 回答番号凡例

	質問1~4、6~16	質問5
	強くそう思う	難しすぎた
	ややそう思う	やや難しすぎた
	どちらとも言えない	適切だった
	あまりそう思わない	やや易しすぎた
	全くそう思わない	易しすぎた
	不明(無回答を含む)	

■ 科目平均、全体平均の計算方法

各回答選択肢に下記の点数を与え、回答点数の総和を回答総数で割ったもの。但し、不明回答については計算から除外。

選択肢	点数	選択肢	点数
強くそう思う	5	難しすぎた	2
ややそう思う	4	やや難しすぎた	1
どちらとも言えない	3	適切だった	0
あまりそう思わない	2	やや易しすぎた	-1
全くそう思わない	1	易しすぎた	-2

講義	履修者数 1962	回答者数 1570	回答率 80%
----	-----------	-----------	---------

区分	質問番号	質問内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目
学生の取り組み	1	学生全体の授業態度はよかった。	240	554	487	207	81	1	3.42
	2	あなた自身の授業態度はよかった。	269	699	499	83	18	2	3.71
	3	授業時間外での学習をよくした。	155	283	632	320	176	4	2.95
	4	わからないところは積極的に質問するように心がけた。	159	304	612	283	207	5	2.95
授業の内容、方法、教員の取り組み	5	授業の難易度は適切だった。	87	381	1036	44	18	4	0.30
	6	シラバスに沿った内容、方法で授業が行われた。	330	605	574	34	20	7	3.76
	7	授業はよく準備・工夫されていた。	429	565	444	76	53	3	3.79
	8	教材(テキスト、配布資料など)の活用は適切だった。	398	600	438	87	43	4	3.78
	9	黒板/ホワイトボードや視聴覚教材の使用は、効果的だった。	411	535	440	128	51	5	3.72
	10	学生の理解度、習熟度を考慮して授業が進められていた。	327	502	550	124	61	6	3.58
	11	教員の話し声は聞き取りやすかった。	458	489	444	123	48	8	3.76
	12	教員は、学生の質問や疑問、意見に適切に対応した。	426	513	491	95	39	6	3.76
	13	教員は、私語などを注意し、授業環境を適正に保つ配慮をした。	440	524	429	121	49	7	3.76
	14	教員の取り組み姿勢に熱意、誠実さ、真剣さを感じた。	491	556	408	73	40	2	3.88
全体的な評価	15	この授業に関連する内容への関心が深まった。	406	522	451	107	56	28	3.72
	16	この授業を受けて満足している。	425	477	465	94	76	33	3.70
自由設定項目	17	自由設定質問							-
	18	自由設定質問							-

グラフ内数字は回答数

■ 回答番号凡例

	質問1~4、6~16	質問5
■	強くそう思う	難しすぎた
■	ややそう思う	やや難しすぎた
■	どちらとも言えない	適切だった
■	あまりそう思わない	やや易しすぎた
■	全くそう思わない	易しすぎた
■	不明(無回答を含む)	

■ 科目平均、全体平均の計算方法

各回答選択肢に下記の点数を与え、回答点数の総和を回答総数で割ったもの。但し、不明回答については計算から除外。

選択肢	点数	選択肢	点数
強くそう思う	5	難しすぎた	2
ややそう思う	4	やや難しすぎた	1
どちらとも言えない	3	適切だった	0
あまりそう思わない	2	やや易しすぎた	-1
全くそう思わない	1	易しすぎた	-2

実技・演習	履修者数	1614	回答者数	1310	回答率	81%
--------------	------	------	------	------	-----	-----

区分	質問番号	質問内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目
学生の取り組み	1	学生全体の授業態度はよかった。							4.10
	2	あなた自身の授業態度はよかった。							4.13
	3	授業時間外での学習をよくした。							3.37
	4	わからないところは積極的に質問するように心がけた。							3.62
授業の内容、方法、教員の取り組み	5	授業の難易度は適切だった。							0.34
	6	シラバスに沿った内容、方法で授業が行われた。							4.01
	7	授業はよく準備・工夫されていた。							4.16
	8	教材(テキスト、配布資料など)の活用は適切だった。							4.11
	9	黒板/ホワイトボードや視聴覚教材の使用は、効果的だった。							4.01
	10	学生の理解度、習熟度を考慮して授業が進められていた。							4.07
	11	教員の話し声は聞き取りやすかった。							4.21
	12	教員は、学生の質問や疑問、意見に適切に対応した。							4.18
	13	教員は、私語などを注意し、授業環境を適正に保つ配慮をした。							4.13
	14	教員の取り組み姿勢に熱意、誠実さ、真剣さを感じた。							4.23
全体的な評価	15	この授業に関連する内容への関心が深まった。							4.17
	16	この授業を受けて満足している。							4.18
自由設定項目	17	自由設定質問							-
	18	自由設定質問							-

グラフ内数字は回答数

■ 回答番号凡例

	質問1~4、6~16	質問5
	強くそう思う	難しすぎた
	ややそう思う	やや難しすぎた
	どちらとも言えない	適切だった
	あまりそう思わない	やや易しすぎた
	全くそう思わない	易しすぎた
	不明(無回答を含む)	

■ 科目平均、全体平均の計算方法

各回答選択肢に下記の点数を与え、回答点数の総和を回答総数で割ったもの。但し、不明回答については計算から除外。

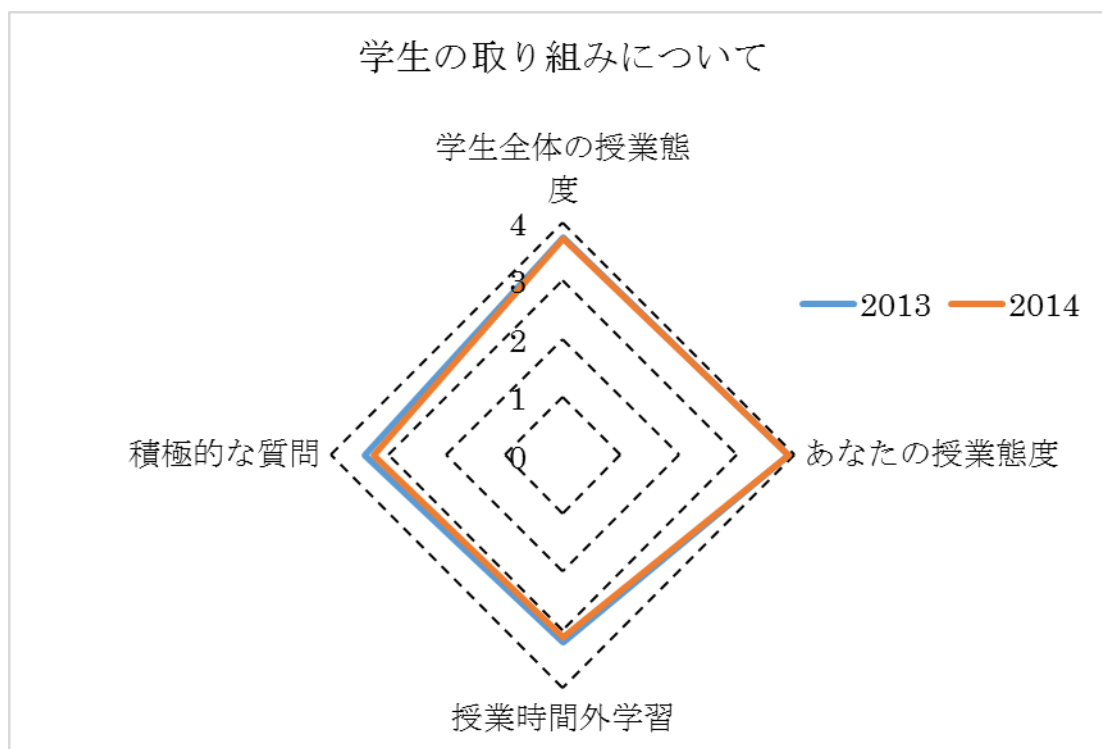
選択肢	点数	選択肢	点数
強くそう思う	5	難しすぎた	2
ややそう思う	4	やや難しすぎた	1
どちらとも言えない	3	適切だった	0
あまりそう思わない	2	やや易しすぎた	-1
全くそう思わない	1	易しすぎた	-2

全体集計について

1. 回答率について

81%の回答率であった。昨年度春学期は84%で回答率が減少した。HPなどで公表されている他大学の回答率と比較すると悪くない数字であると思われるが、できれば90%以上の回答率が望まれる。

2. 学生の取り組みについて



昨年度と比べて、評定平均値、パターン共に同様の結果であった。

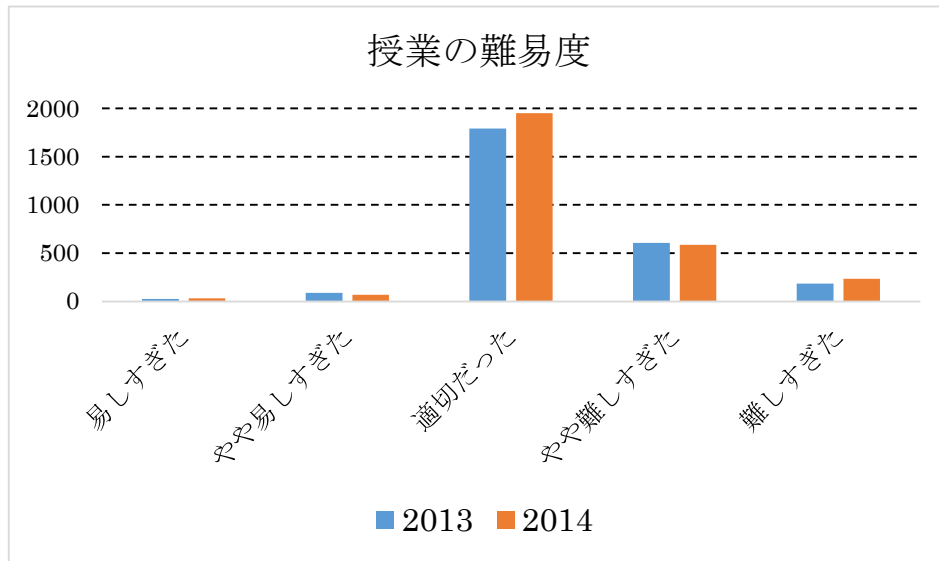
学生全体の授業態度 (3.73)、あなたの授業態度 (3.90) であり、学生全体の授業態度に較べて、自分自身の授業態度はよいと評価している。

授業アンケート全項目の中で評価が低かったのは、昨年度と同じく「授業時間外での学習をよくした。」(3.14)、「分からなかったところは積極的に質問するようところがけた。」(3.25)の2項目であった。評定平均値は昨年度より下がっており、今後の対応が必要であると思われる。

教員としては授業外の学習方法を工夫したり、わからないところを解決する方法を提示したりする工夫が求められる。

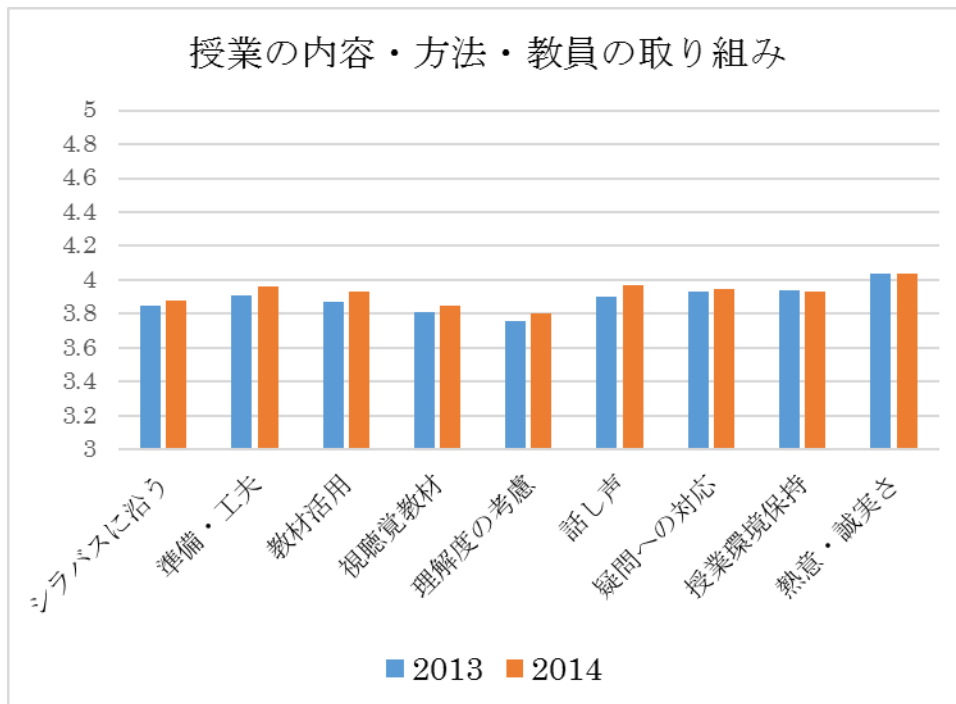
3. 授業の内容、方法、教員の取り組みについて

① 難易度について



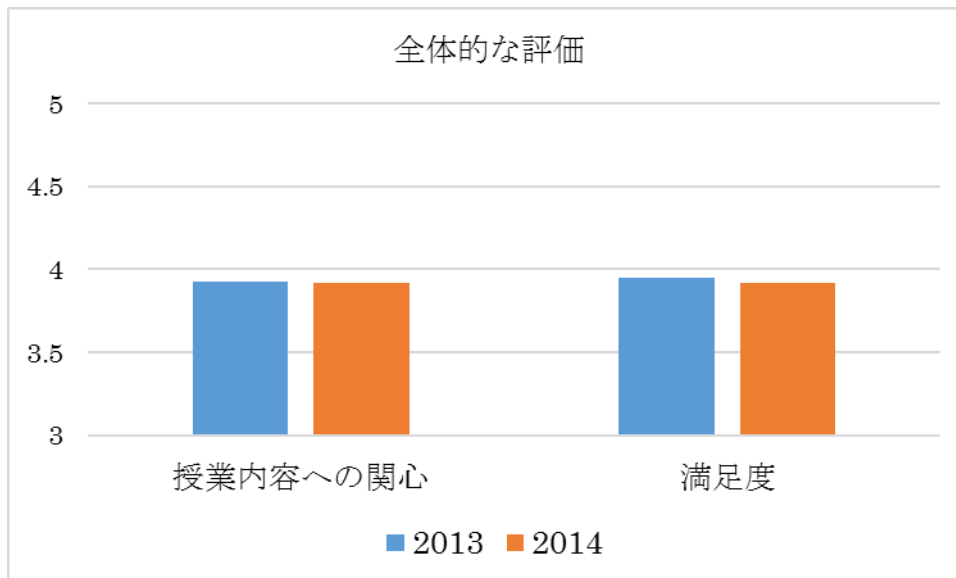
授業の難易度が適切だったとの回答が 66%あり、平均値は 0.31 であったため全体的に難易度は適切な科目が多かったようであるが、「難しすぎた」「やや難しすぎた」との回答が合わせて 30%あることから、科目によっては難易度の高いものがあることに注意しなければならない。

② 授業への取り組み



授業の内容、方法、教員の取り組みについては全体的に高い評価であった。昨年度の平均値 3.89、今年度の平均値 3.92 で昨年度よりポイントが上がった。「授業の準備、工夫」「教材の活用」「話し声」などの項目が昨年度より向上した。また、「教員の取り組む姿勢に熱意、誠実さ、真剣さを感じた。」の項目は昨年度と同じく、全体の項目で最も高い 4.04 の評価が得られた。一方で「学生の理解度、習熟度を考慮して授業が進められていた。」の項目がやや低いことに気をつけなくてはならない。

4. 全体的な評価

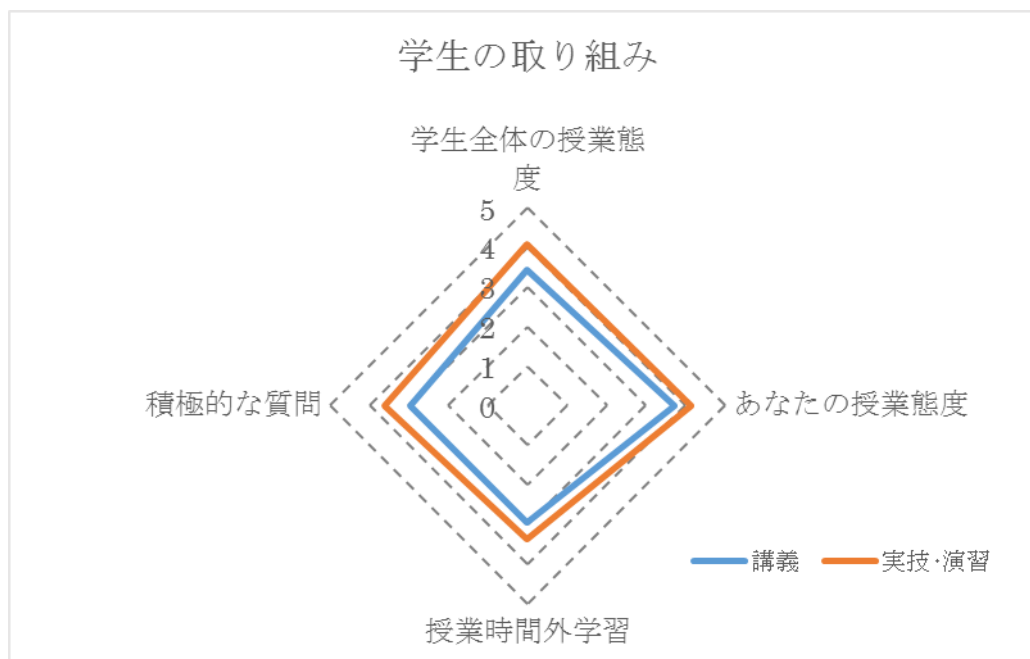


「この授業に関連する内容への関心が深まった。」「この授業を受けて満足している。」という全体的な評価については、昨年度と同様に、それぞれ、3.92、3.92 という高評価が得られたことから概ね学生の満足度の高い適切な授業が実施されたと考えられる。

5. 講義系科目と実技・演習系科目

2014年度からは、全授業科目を講義系科目と実技・演習系科目に分けて、それぞれの集計を行い、結果を比較した。

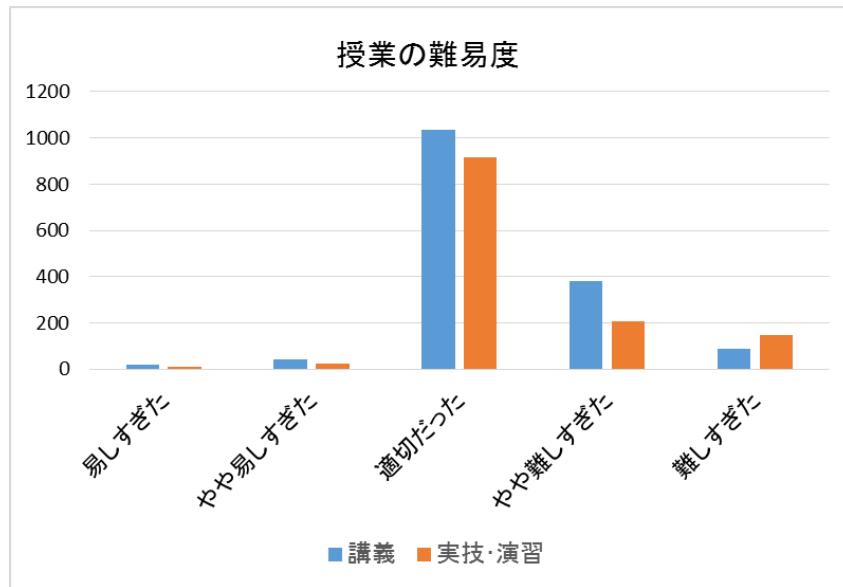
(1) 学生の取り組み



「学生全体の授業態度」「本人の授業態度」「積極的な質問」「授業時間外の学習」のいずれにおいても実技・実習系科目の評価が高かった。

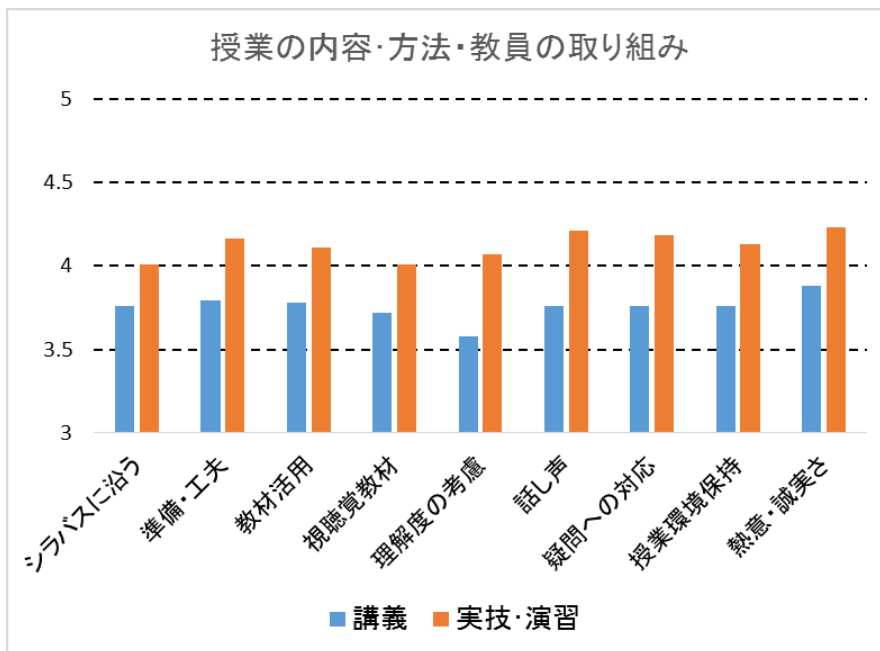
(2) 授業の内容、方法、教員の取り組みについて

① 難易度について



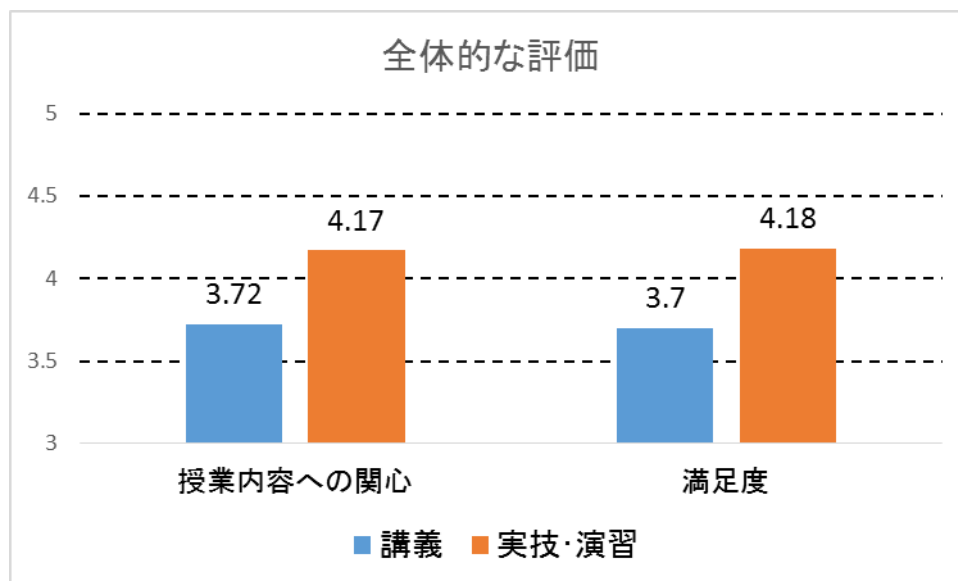
授業の難易度に関しては、「適切だった」との回答数は講義系科目の方が、実技・演習系科目より多かった。また、「やや難しすぎた」の回答数は、同じく講義系科目の方が、実技・演習系科目より多く、「難しすぎた」の回答数は、実技・演習系科目が講義系科目を上回った。これは、講義系科目のほとんどは学習するのに適したレベルであり、一部の科目にやや難しい内容があったことが推察される。また、実技・演習系で難しすぎたと応えた学生は、特定の科目に偏っているわけではなく、様々な実技・演習系科目に1～2名程度が回答しているようであった。実技系科目は、得意不得意がはっきりと分かれるため、科目によってはTAなどを活用して苦手な学生の支援が必要となるであろう。

② 授業への取り組み



授業への取り組みについては、全ての項目において、実技・演習系科目が講義系科目を上回る評価となった。特に実技・演習系科目の評価平均値が4.0以上であったのに比べ、講義系科目の評価平均値が4.0未満であった。

③ 全体的な評価



「この授業に関連する内容への関心が深まった。」「この授業を受けて満足している。」という全体的な評価についても「授業への取り組み」と同様に、実技・演習系科目が講義系科目を上回り、実技・演習系科目の評価平均値が4.0以上、講義系科目の評価平均値が3.7という結果となった。

以上のことから、本学の学生にとっては、授業内容の難易度以外は、実技・演習系の科目の方が、講義系の科目に比べて、学修意欲を喚起するようである。実技・演習系科目の評価が講義系科目に比べて高い評価を得ることは、他大学などでも同様に見られる。特に、保育者を志す学生の場合、音楽を演奏したり、運動したり、製作したり、遊んだりすることが、好きで得意であり、興味関心を持って、積極的に学ぶことができるのは、大変によいことである。一方で、座学がやや苦手であることは、今後、専門性の高い保育者として成長するために様々な情報や知識を学ぶためには不利であろう。講義系科目は、講義を受けることによって、自分の世界が広がっていくことの楽しさに気づいてもらいたいと同時に、学ぶことが楽しくなるような授業者の工夫も必要になってくると思われる。

平成26年度 春学期

学生による授業評価と授業改善のためのアンケート結果

平成26年11月 印刷

平成26年11月 発行

編集 こども教育宝仙大学FD委員会

FD委員長 松原 豊

発行 こども教育宝仙大学

164-8631 東京都中野区中央二丁目33番地26号

TEL 03-3365-0267

FAX 03-3365-0269